

## はじめに

『学ぶと教えるの現象学研究 十七 30周年記念号』をお届けします。

本シリーズは、1987年6月に創刊され、今年2017年で30周年を迎えます。

管見ながら、日本における現象学的教育研究のシリーズとしては、最長記録を更新しています。

2011年2月から編集事務局を宮城教育大学教育学研究室に移し、また隔年刊行とし、今回で4度目の刊行となります。本号には、シリーズ創刊者の吉田章宏先生から、創刊30周年を飾る書き下ろしの玉稿を、ご寄稿いただきました。

本号の寄稿者9名は、年齢も立場もそれぞれ異なりますが、教育の現象学に魅せられ、それに大いなる意義と可能性を感じている点で一致しています。そして、それぞれが現象学研究に費やした時間にも、読破した現象学関連図書の冊数にも、著作物の数量にも違いがあります。また、それぞれがたずさわる教育実践の現場も異なれば、実践経験の年数も異なります。しかし、自身が現象学や教育実践を学ぶ「初心者」であると自認する点では、一致しているに違いありません。現象学は、学べば学ぶほどに、学び手を初心者に生まれ変わらせ、何かをはじめて学ぶときの喜びと困惑、希望と身震いを呼び起こすからです。

まさに吉田章宏先生が終わりに記しているように、「現象学の智慧が、研究者と実践者から広がって、一般の世間の人々に、そして、時には、幼い子どもたちの間でさえも、共有される日が来る」ことを、編者の私も共に願っています。本号がそれに幾ばくかでも寄与するならば、創刊30周年記念号にふさわしい一巻といえるでしょう。

編集にあたっては、新潟大学の福田学准教授に幹事を務めていただきました。

『十五』号より、執筆者の許諾を得てインターネット上でも、以下のアドレスで公開しています。

[http://tabata2014.blogspot.jp/p/blog-page\\_1100.html](http://tabata2014.blogspot.jp/p/blog-page_1100.html)

当面は上記アドレスでの公開を保持します。

次号は2019年2月の刊行予定です。

バックナンバーご希望の方は、ご希望の号数を下記までご連絡いただければ、折り返し発送させていただきます。なお、『十三』号、『十四』号は在庫なしとなりました。

2017年1月

宮城教育大学 田 端 健 人

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149番地

Tel./Fax. : 022-214-3522

E-mail : tabata-t@staff.miyakyo-u.ac.jp